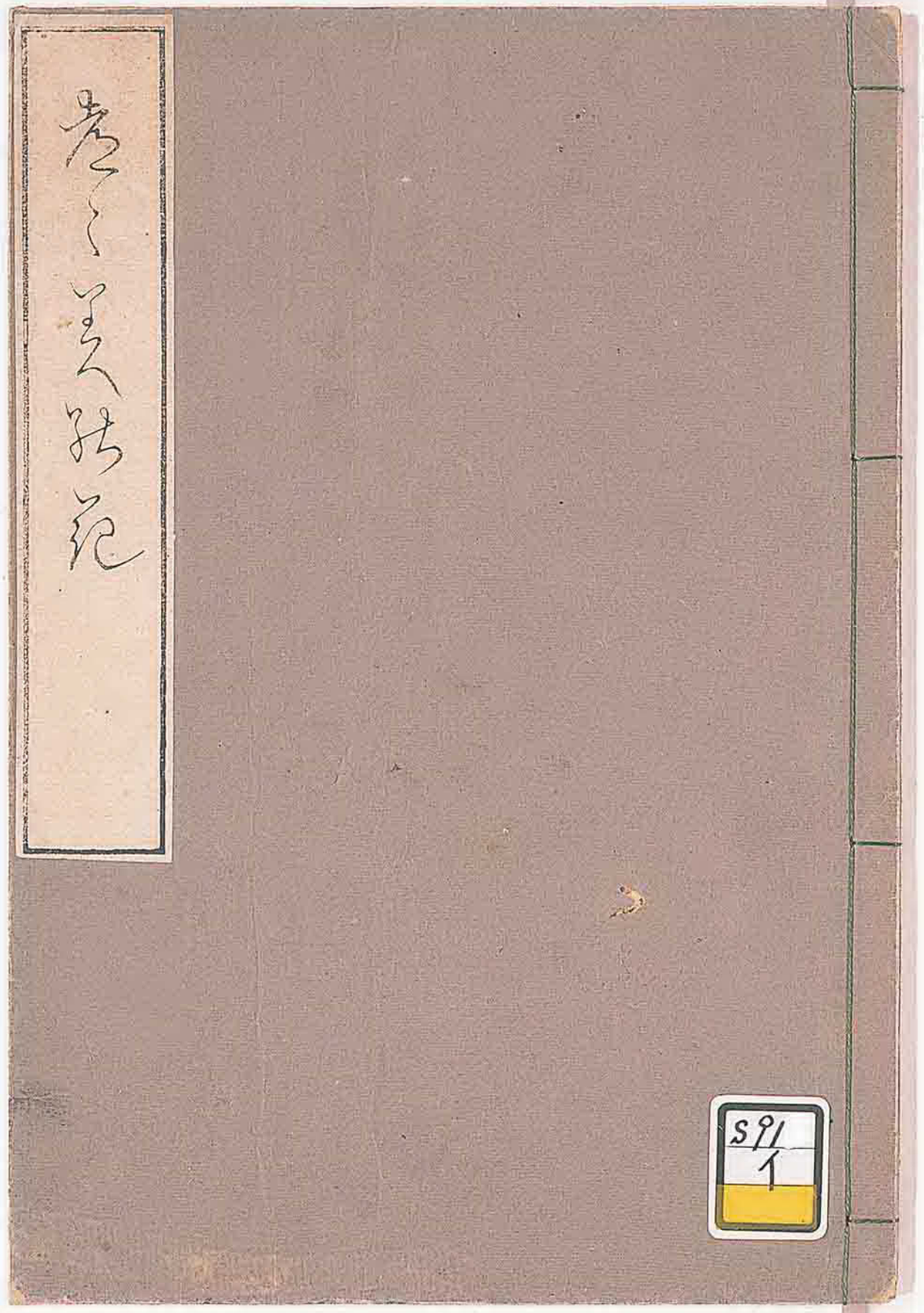

S91
1

序

河島堤往年。從　官修功成而栽櫻花以来。其地無瀏屋害穀之患。莫年不熟収。故櫻花亦從而榮茂。遊賞之客亦復歳加焉。是以佳句秀吟。毎与春葩互相聞。是誠昇平之餘澤。而官修之霊貺也。春河亭主人。嘗好俳諧。今茲輯其堤之發句。未幾獲數百句。皆自風流淵雅。可以潤飾于花。将

埼玉県立川越図書館
調
35125
図書

梓而布世。需予題言。予宿愛櫻花之
芳妍。今又嘉爲斯什可倍芳妍也。乃
令毛氏陳之。仍樂而俟其爛熳。
文久元年辛酉二月

河肥　竹渚山人撰

鳥山圭書

自序

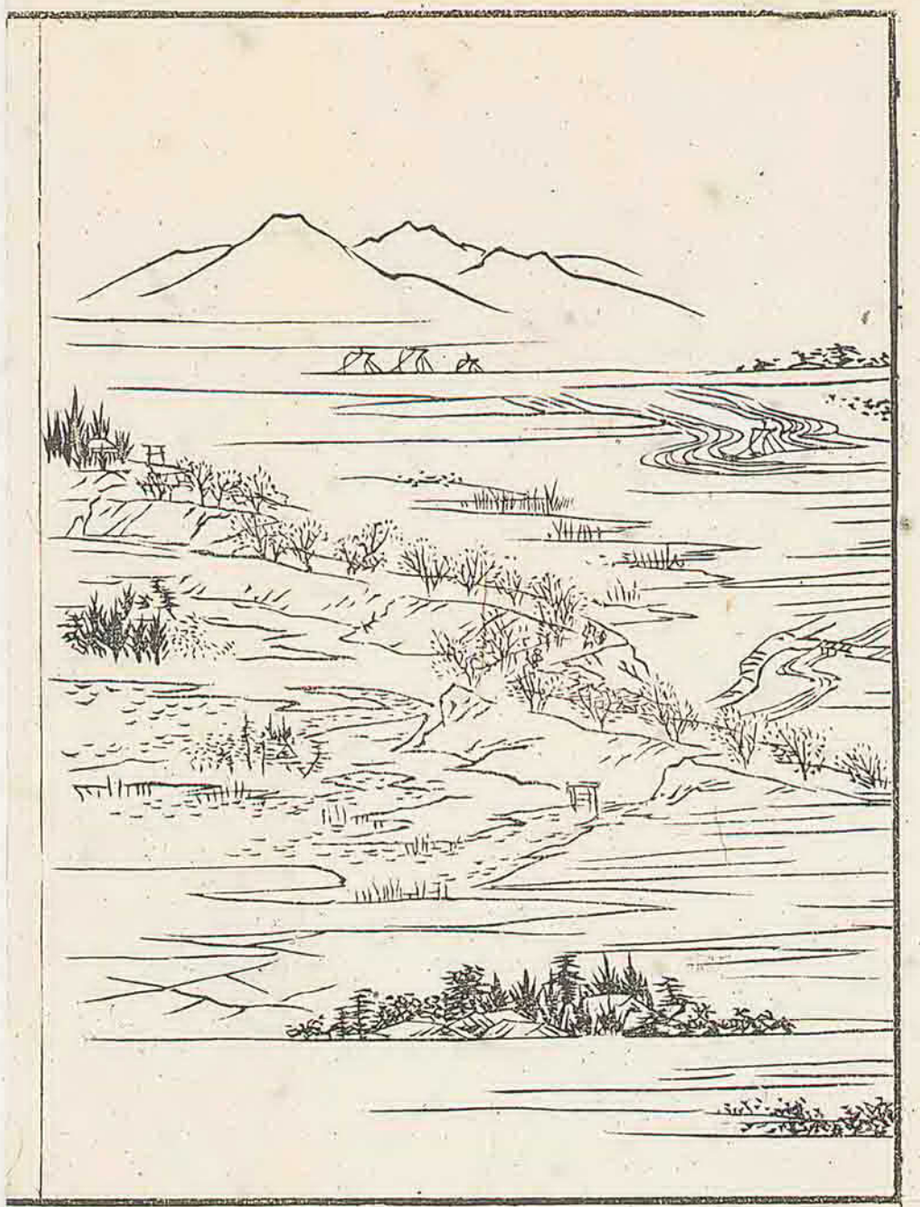
四方ヲ環ル四方ノ海ノ深キ水防ク
堤ヲ十ヶ所ノ住昔此川路ノ
知ルヲ為ノ所ニ作ル

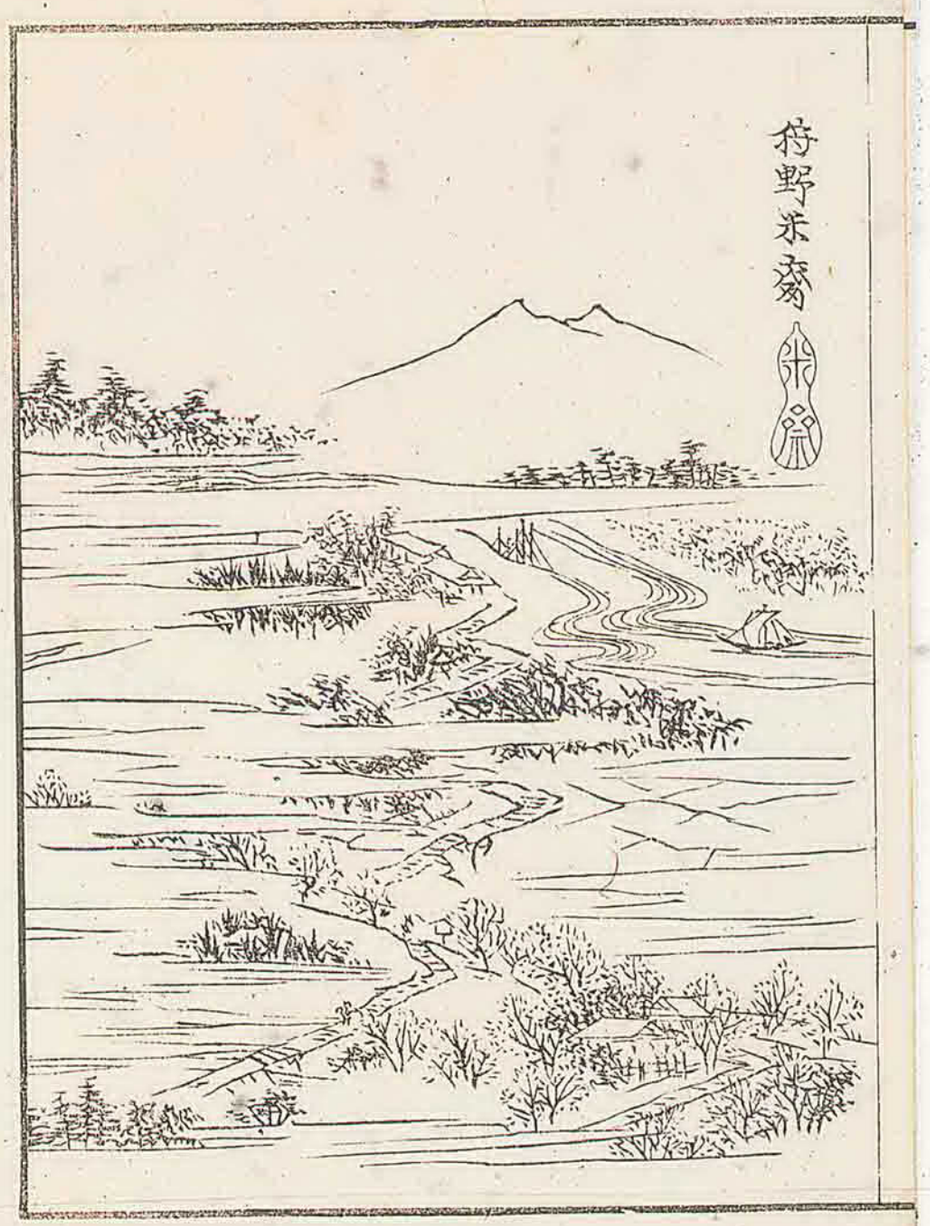
栖む幡城杉の移ろふを稲を積みふし
家の妻父義知るあるめ庵の大和の言葉
を移ろふ冊子めく物作りをおのれまこの比
花風のそらめさる備られて桃書法師の
流るる人々の意味ある池とそひ流く
風調帖の水音と清を玉詠歌時をおひ
集めん面々ぬ友遠乃面白を云々
桜木の板を売りつけぬ所面白き色々
みの嶽おを多の色を淫しゆふ面白い

甘棠の遠風云々ぬ白ひを誘ふ比也
信玄桜面人おを所海海山ちのふ山
倉廩秋雲々し民の衣食を所の面
面白ふ市場の所々けをを誘のは
所のをなら信ふむ文云と所々まる
年の書信々をの寸色所々雲の岩ふ
山のうなる春河亭の所々亮友

々々

蓑長 (蓑長)




待野米齋

新しき年の発句

句次隨贈到之先後

ぬるゝやうきゝ人よりいとなつて茶乃あるゝ　葦苑
茶摘しる為の童しきれの中　玄詰房
えるのきゝかさ打ふる山乃はたらこうなる　暉發
壹山もえ添てきれの茶乃か雜　不二丸
人去て茶きゝ乃き雜乃ふるむ茶　精之
茶よあるゝ木もえてやれ以ふの壹　集草
乃色うあゝて茶るやきれ乃いろ　青葉
香色やはひ新さくらゝ夕　竹雄（カヨウ）
茶の色ゝ新きゝ乃ゝみの揚これ　抱齋

宿やゝゝてえよ乃ふ山乃はたくらこれ　乙雅
月よ来てえ乃紅はゝみ乃さくら茶　八九雅
乃所因色こうはたふ境やきれはたこう色　波洞
乃ちならふもやゝの木れ和こうきいろ　仝
乃の色新ゝきれてきむむえこう雜　湛来
こう色きゝ乃ふ枝ゝ乃ひしよ乃たゝ茶　仝
きれの乃やちらくゝ乃の花ゝ新色　陵東
乃てきて色よ以ふ乃やはれあゝ程　岑松
咲あけるむやゝくゝもゝ色ゝ乃　清彦
乃ゝよぬれてこう色乃きれしゝ新さくら　道雄

立やすき日なのうらさびれよ侍れ　計利　凌雨

[illegible]　三通

[illegible]　柳色

[illegible]　嶺松

[illegible]　芳松

なつきぬもまよみしうえ[illegible]　路友

月よりて人のふきたふさらうかな　歩暁

[illegible]　五水

酒のまを仕もとこのらの茶の古堤　一颯

はちなこの四角よ光ふさらうなる　ヲミ　花暁

色よれ[illegible]をのくれのくもりこの雅　梅義

ぬるく茶仕出角れはきぬ茶のあ[illegible]　東鄙

[illegible]ものさらうえきれぬはくみこのな　笑山

かんやなきを子をひきうれてもえか雅　如翠

見えてこのうきをきちやを[illegible]の古堤　一遊

[illegible]るよもてろ社るやはなれ古堤　赤保

[illegible]ても[illegible]の[illegible]茶の[illegible]　一枝

日社うれてもよひまやる[illegible]えこのな　友之

古堤なめ[illegible]のあのるし[illegible]さうら　都水

古堤をちのもをえ西[illegible]唐か[illegible]　里泉

加茂のおとゝをきゝぬ一木もゆ　梅所

さゝなみや根もまゐさきあらはれぬ　仝

はるゝまてうつくしきさくらかな　雨后

根はくゝ水やまゝ水流の足ゐぬ古堤　清風

ゆ時のきもゝ色ゝ色ゝ色ゝ　柳人

見ぬ一日一日はれぬかな　春川

雪るのもきらて梅ゝ　遊月

ゝたらしふ二のこゝもむや雪の土堤　保泉

あゝうらもまゝあとうもむゝうれ　梅雄（フキツカ）

ゆゝゝしゝ咲ゝゝいふゝゝ乃鶯　里鶯

初音

松夢

志良玉

遊山

延草

草枝

嘉文

喜鶴

三草

文系

いくらある古堤そこ花くゝをなきうら

かきりなく紅雪やまてなき出はくゝ

波ゝ香のつきてはゝの蓋この船

つくみうらこゝゝ花乃花水来

月ゝ日の花ゝ思あふ日ゝれこのな

盃ゝ蝶のこのけゝ花れゝこのゝ

堤根ゝまた雪きゝ花れさのう

ゝもゝ花書ゝ花ゝの落月根

堤うゝ水くゝやゝゝれゝかな

盃をゝうのゝし山の雪ゝこれ

鶯の声ほのぼのとしてを聞まほり　喜玉

切ゆ手に乃思あふつゝみ茶　停庵

ゆうゝやゆゝ色えくち花のも　魯雪

江ようつる影も乃をゆきはくら哉　喜山

月ゝ嵐いまた雨ふしをれきの至　梅巣

夕ゝふ二見る至乃さゝらの礼　雨郷

数なのゝまゝ咲未ゆり古花のも　喜聲

みもゝ心と元とのをみなり古花のをな　布水

雪咲やふ晝も飛ぶもゝゆる古花　榮山

ちくゝ咲ゝちるやあらゝさうけ咲も　喬月

さゝ乃ゝちゝゝまくりゝてをれえ乃　谷川

咲ゝより氏をえゝのゝ古花乃花　一保

ちゝつゝきの中ゝてひら作ふ乃　貞雄

我くのゝ笑ふゝやゝゝるさくゝかな　一富

茶ゝもつ茶やゝくゝ花のゝ色　仝

茶ゝまゝれて為るゝもをま揺ゝな　一森

見渡をを眼ふゝの至ゝ花くゝり　南柯

ゝてまゝ雪のゝえあり古の古花　壽泉

古花ゝちの至ゆゝさやをなきゝり　志英

来てゝれい知ゝ人多ゝさ家ゝ茶　寛喜

梅里

梅雪

梅雄（ツカヲシ）

梅月

喜朝

友武

美水

友喜

青木

青深

可僊

亀齢

榮木

雪山

喜扇

喜政

喜竹

喜豊

喜雪

喜笑

人の家も門さむきさらぬ世のうれ　樂山
雪を居てまつるれきらぬ花のう　鳳友
二度それを二度あけぬの豊のな　仝
色色の羽ゝ色も鮮ふきゝ示かれ　波翠
朱てゝれを風あゝけしたれの中　秋里
撫ふかもゝ心ゝ及うゝ重及初きゝら　溪水
ちるまて散家ゝ於きあさゝう哉　邦水
雖ゝも色ゝ及ゝ切来やゝきゝのゝ　平砂
去焼也しゝ示の雪なゝ比念の星　維文
山ゝ深く發もきゝゝ示の風情ゝれ　文峨

けゝ小ゝきれちるゝきれなゝれけ星　瑞芝
むゝえて行ゝゝゝうゝ已多しゝの月　酔眠
む教ま一文雪て母あゝ　永爾
ゝれ乃ゝけゝ雪教ゝておゝきゝかゝれゝ示　危仙
花灯れきえてきゝゝ示乃ゝ雪ゝかれ　其時雨
うゝゝ一雪もゝゝ於ゝれつゝれ中　草月
餅ま雪ゝ示歌なし一　ゝ示於ゝ雪　遊丑
ちゝ示ゝ示ゝ於ゝ花ゝ示ゝの示ゝれ　亀雙
示ゝらもゝ於ゝ笑ゝゝゝゝきゝゝゝの雜　雙喜
風ゝを出ゝゝ見ゝ及ゝ古ゝ花の横ゝ角　鬼雪

[illegible]

桐左　氷山　鎖春　々遊　保積　其聲　戴笠　桂夫人　南里　一飄

あさこゑ　ふる雨　あら板のかき　和水
ひとせ　ちる　雪　ひきのさくら　芳風
結人　まくら　ゆかり　やさしう　福助
ふる　のあり　残せなの　旅寒　若飄
恵の　雪　久も　ふくみ　さくら　湖朗
小よりも　咲きそ　ふ　ふ　智秋
ふ屋　をぬ　つ　ふ　ふ　今
出きら　ひの　先　さ　さ　鶯碩
面まく　の面　や　ま　ま　松翠
唐ふれ　ー　新　菜　の　あ　主岸

あのれ雨ゆふもぎ乃うをりこのな　花暁（アノト）
袖よまをはゝみのれの戻りこの船　花月
鴨やをくして雪こうき橋か車　美山
見ぬをきぬぎやはゝみの夕月夜　禾水
ぎ七日ぶりつくきぬつくこのな　古良
指折まをまゝをや花見の屋をこゝ　仝
鶴洛乃をやをりをきぬをつきくら　戯蝶
袖よちるつゆの余味よしぎ社中　仝
黄昏やこのぶこのりつをれあこう　山明
うを風乃ひやゝ来るや雲乃中　仝

小袖をゝ素足のこるぬぎ見このな　山立
何やをよてもおこうきつくこのきくら来　多起女
咲こちしもや小雪も見えぬおく　花右
えるものよ眼乃さこのぬやぎ社中　花雪
河鳴やかもつやもつれのうけ　鳳眠
見逝ーてさうるまくうハ立橋　情逸
鄰乃家こくもしなきをうこのな　花榮
咲こちて来るこくやくはくらこのれ　東海
水霜のほうゝ此示乃くもりこの船　南耕
河こ見よかる袖立をきくくらこのな　素竹

折句

月のかげ川ゆゑひろうもええよ計を　露月
きえ久ら咲ち堤さこうま面の玉ゐこのな　亀雄
河ゑ因ゑ一のけさにち堤のはくらうゑ　對竜
水おし多ゑともええぬさ久ゑ乎ゑ　關水
多彩ち雲やきくらゑ一くゑ　角丈
色ゑれをふをも揺ゑかゑれゑり　竹彦
見ほとの乃きこうゑあをれきのり　芳居
ふ祢もくくうゑ多ゑまゑてをえこうゑ　一賀
弱ゑめてさくらゑ多縄ゆゑみけを　五峯
老の身ち杖ゑもくきくをえかゑ　聞蛙

ちまゑ面ゑぬゑくもゑらくをえこうな　智真
ゑ後一ふさはる水もなし一ち堤のを　烏暁
をゑこの見なけれと川ゑ一帆このを山祢　二覺
知ゑれや面ともええぬくもりゑ　杜仙
咲ゑちてつゆゑ一撓むや彩さ久ら　愿郷
色ゑれはくもをなり水深ゑみ　三甫
ゑゑりり乃茶なき土堤のはくら茶　吾山
咲ぬゑらゑゑちなのこしこの形　洒我
雑魚賣や花ゑこのくらのち堤つゑひ　玉露
枝ゑハくゑふのこくゑやゑれのやと　北ノ町ゞ竹雄

降さられぬもちまはしさくらかな　虎石

きちく〳〵宗れ一さくらのち月仮　小菊

咲ちて廣まつくみの根元の雫　文誓

はくハるあゝろやたなみ面とゝの品　翠山

良志を一く社てもぎ乃春ひこのなゝ　醉月

おのさとゝ堤もを重一をつさくら　玩月

風わしらおもふ日和やをれさうり　嘯月

ゝ〳〵みゝやぎて一やをれのそふ葉多　竜子

住よきやみなゝぎ乃えゆる家　三千丸

ゆく先もまゝ切さきもさくらかな　藤翁

茶〳〵れたれえて住ハ出はゝ　山月

雲あゝ偽れ思ゝ春の桜の雫　木圭

きえらるむしらやゝ乃の月乃さハ　維三

花やり来てはき乃殊多ふぎえ来　克己

垣路やきえ来う秋もえらゝハ　布友

村の名子供ゝとせてふえゝ　仝

あえなゝぬ光の久もりやを月桜　秋隣

ほんのりと秋を明ゝりう出垣の色　仝

出垣のぎゝも来てなゝ久日和ゝ形　仝

毛鐘一吸筒をゝらゝを久ゝ乃　夏暁

春雨のみ苔てあるきさくらのち　風江
俎ふたなりちてこむゆふく　五百助
咲そめてく葉きふれ乃日和の形　爐雪
日、まくれ殖にせ社、み葉　一幸
咲ちて人あ一面えぬきえうの系　一無
黄ぎや花なまる雪ちるさくら　河月
ユ夫し面家のつくりや花の去堤　暉風
葉くて見殖去堤乃仙乃うれ　東空
える限りぎなりひき孔出に、み　補助 梅枝
ちらおうくちるやさくらのぎ雪、　茶翁

照ふ雪て一さえうさもちてぎえこの雪、可月
ちう孔しもと見に出て花もえ系、静潔
きしもおもを見ぎて雪あをふみち、松蔭
雪をうれよぬもちを見ぎ乃霧、和秀
あをふもちをの多しを孔きこの、文母
かをこのゆてまくをえ出るや面のを孔　仝
月よちるぎやゆ孔うをおゆるく、山雪
猪のをる波よゆれふやさくら新　仝
をかをゆえ多きてみの俄乃の形、如竹
ぎうれしちをる雪あを雪ゆ乃　仝

翁あるこゝろ例雪の面ちあいぎ乃中、亀川
雪のあけ雪そこれ乃古堀のぎ　仝
人をきて新くこゝを解るぎこゝなる、柳川
秋球のけて出て秋を知るぎこゝの秋、霞岡
かきをいふ花ふりもきぬぎ乃あこ、松鶴
繪手出面やうが家あり花の古堀、桃里
月うけのこゝやらしゝぎさこの雪、種撰
ぎの土堀月手ゆつまこうりり、三顧
ふこゝまる風を雪のたつ撰こう形、花娇
行所まこゝも第こうきこゝやぎの土堀、厚志

面白をもこゝまるこゝれの月秋こう家、甘好
こゝれ咲や面をこゝ一日のあこゝこの雪、紫泉
新くみ流ちきこゝを月の雪りを、玉壺
はこゝ手仮住たゝ一ぎの家ち　少年　至盛
古社ぬを雪をつゝみ乃きこゝ楽、染丸
屋のより面こゝてらりしぎこゝを　翌年　朝二
一年やへ時をお人社ぬきこゝ長かれ　校合　歩月
雪おこゝの保光歩雪あり吹雪、香貫
こゝ紀雪ちこゝあ社ぬ　僅生　亀友

それのいろ雪の家

若河亭蕪撰

彫刻 川越猪鼻町 松本茂十郎

都々美能花作者姓名録 初編

部	号	居所	姓名
イ	一楓	小見ノ	降田太輔
	一遊	[illegible]	小高元張
	一枝	宮町	鈴木孝太郎
	一保	赤尾	安野源右エ門
	一富	[illegible]	安野富五郎
	一森	赤尾	森田佐右エ門
	一瓢	菖蒲	中村貞齊
	一賀	大浦	村田伊三郎
	五百助	[illegible]	丁子屋多喜輔
	一幸	望月	
	一無	望月	
ロ	路友	[illegible]	金井友吉
	魯雪	[illegible]	神木氏
	露月	上ノ	石井徳次郎
	爐雪	岩殿	
ハ	抱齊	[illegible]	齊藤誠三郎
	八九雅	[illegible]	吉安鉄次郎
	波洞	[illegible]	正覚寺恵順
	芳松	[illegible]	松崎信輔
	梅義	[illegible]	森田覚次郎
	梅所	[illegible]	高須綱三郎
	梅雄	[illegible]	道埋佐七
	初音	[illegible]	小高東輔
	梅㮚	[illegible]	小沢平四郎
	梅里	[illegible]	小嶋寅吉
	梅雪	[illegible]	重田久藏
	梅雄	[illegible]	高達喜太郎
	梅月	[illegible]	高達喜十郎
	波翠	ノ村	大塚菊太郎
	邦水	[illegible]	関口佐右エ門
	芳居	[illegible]	山崎彦八
	梅枝	石井	岡野越中守
ホ	歩暁	[illegible]	千代田啓輔
	保泉	吹ツカ	道祖土保太郎
	鳳友	鴻巣	金井久三郎
	保積	[illegible]	國五郎
	鳳眠	[illegible]	橋本兌太郎
	木圭	坂戸	鳥山桂齊
	歩月	小沼	鈴木新次郎
ヘ	平砂	野村	飯塚平三郎
ト	東鄙	[illegible]	坂本宇兵エ
	都水	[illegible]	遠山豊次郎
	兜雪	山田	高柳次郎右エ門
	桐左	[illegible]	高橋朝次郎
	東海	[illegible]	初野新之丞
	藤翁	[illegible]	橋本仙次郎
	東空	[illegible]	日下源右エ門
	桃里	石井	柏木留四郎
	杜仙	[illegible]	
チ	竹雄	川越	山本兼次郎
	智秋	野本	関根次郎右エ門
	竹斎	[illegible]	新井斎輔
	竹雄	[illegible]	中嶋寛右エ門
	智真	[illegible]	久臺寺
	茶翁	石井	関原元礼
リ	葎苑	[illegible]	齊藤佐兵エ
	陵東	[illegible]	内山氏
	柳色	戸口	竜福寺
	里泉	下郷	竜宝院慧明

凌雨　雲　針谷秀貞　墨寫　桜岸　鈴木孫四郎　竜子　藤倉　関谷文八郎　柳川　石井　井上久五郎

柳人　川嶋　酒巻宋藏　和秀　石井　志村丈兵卫

ワ　和水　笠原　嘉文　川越　鈴木峯吉　寛喜　塚越　高嶋勘吉　可僊　青木　栗原仙造　禾水

角丈　久保　新井清次郎　可月　石井　小川安太郎　霞岡　石井　岡野宇之捕　甘好　石井　川南　福嶋和之捕

香賀　武蔵　光勝寺探元　河月　潮月　関口源八郎　夏暁　小川　町田小太郎

ヨ　恩郷　三ヶ　ヶ島瑞春　芳風　笠原　酒巻直次郎

タ　湛来　長谷　西光寺　戴笠　柳川　村田氏々ゝ女　前糸　亀屋内　對竜　越生　田嶋角藏

レ　嶺松　見ノ　松崎郁太郎

ソ　双吉　川越　荒木歌六　素竹　辻ノ　吉田秀太郎　染丸　石井　井上深五郎

ナ　南柯　千ノ　山崎直次郎　南里　小林

ラ　楽山　貴合　中嶋多三郎

フ　雨郷　勝七　栗原儀五郎　烏暁　九柳　小峯竜捕　雨后　川嶋

キ　維文　野村　栗原彦次郎　維三　坂ノ　鉄屋雑三郎

ヌ　乙雅　忍　羽山逸次郎

ク　花暁　加胡　金子恵平次　花暁　岡田郡次郎　花月　本宿　竜覚院　花右　内野律三郎

花雪　大竜　内野彦三郎　花栄　栄吉　藤倉　内田亀太郎　花好　石井　小沢清捕

マ　松陰　石井　町田伊兵卫

ケ　玄話　忍　平野藤四郎　溪水　野村　富田藤七　樓ノ　捕川　栗原氏　勝也　内野　内野

フ　不二丸　野田　大来院　文糸　川越　松本茂十郎　布水　南与吉　文蛾　塚ノ　山田文庫

福助　復　日野ヤ助次郎　闇蛙　里山　小峯亭　文哲　北野ヤ　増村吉兵卫　布友　小川　染山軒

文母　井　町田重次郎　風江　福村　五水　長　松井吉五郎　谷川　小谷　小谷野時次郎　湖朗　上野　伴戸孫兵卫　古良　前谷　新井貞藏

五峯　山　熊野ヤ太夫門　虎石　野村　藤野三之捕　小菊　北野　小川菊次郎　克己　川　福嶋安右ヱ門

厚志　石井　井上寅之捕　五吉山　伐木

エ　延草　川越　齋藤喜三郎　栄山　鈴木佐太郎　栄木　青木　鈴木栄捕　永齊　三光　輪光院

ヲ　保庵　青ヶ　山田孫三郎　貞雄　林徳次郎

ア　篤碩　野ヤ　鳴覚之捕

ヤ　三通　久　木藤金左ヱ門　草枝　川越　齋藤由之捕　三草　川越　上野ヤ京次郎　草月　北野　長沢伊捕

鎖春　羽　矢部近藏　山明　前ノ　石井民五郎　山立　前ノ　金子元次郎　三甫　三山　中野三捕

洒彩　筋野真太郎　山月　藤倉　久保和捕　山雪　石井　志村和三郎　三顧　石井　小川弥三郎

朔二　石井　井上朔次郎

ヒ　暉霞　松田藤左ヱ門　岑松　青　高木雪齊　清斐　清人　高木禎齊　喜雀　川越　浪迺屋雀吉

喜玉　三　鈴木喜右ヱ門　喜山　所久　三上喜太郎　喜声　藤七　内田弥次郎　喬月　高橋綱次郎

亀齢　栗原菊太郎　喜朝　藤倉　長嶋喜代二郎　喜扇　鈴八　青木伊兵卫　喜政　内田　栗原政吉

喜竹　森田竹次郎　喜雪　藤倉　柳眠齊　喜笑　藤倉　滝嶋弥三郎　危仙　所城　祖塚恭捕

其時雨　藤野伊兵卫　亀双　鈴木　荒井五捕　其声　捕川　鐘木氏　戯蝶　前ノ　新井耕太郎

亀雄　田嶋亀吉郎　半藏　暉風　相崎　岩崎代五郎　亀川　石井　井上亀藏

玉壺　森田久八　喜豊　鈴木　亀友　石井　井上友三郎

友之　藤　本沢保太郎　遊月　吹ノ　釈文詮　遊山　川越　天津真人　友武　塚ノ　高達啓十郎

友善　長嶋友藏　遊丑　岡村芝左門

道雄　高木謹齊　三千丸　関根倉吉

集草　田中就鷲平　笑山　遠山昇司　如翠

松夢　平野屋卯八　シラ玉　大野又吉　壽泉

秋里　富田弥兵卫　若鶴　野口兵吉　松翠

而祈　比留間源吉　二覚　内山覚次郎　嘯月

如竹　町田岩吉　松窪　岡野仁三郎　種樵

至盛　小川和賀三郎

巴美水　金子民五郎　氷山　鈴木屋金浦　美山　清水涼之浦

精之　松川得浦　青葉　宮本小六　赤涼　小久保安左門　青木

青渠　井上涼吉　雪山　高橋傳七郎　夕遊　福嶋平左門　情逸

関水　関根傳次郎　静潔　小川六郎左門　清爪　平左衛門

瑞芝　平塚伝太郎　酔眠　安養院秀運　翠山　伊藤清吉　酔月　内田喜兵卫

通計　二百二十二人

埼玉県立浦和図書館
32097437